

人吉市医師会通信

主要目次

I. 10月行事報告	P. 1～P. 2
II. 各種会議概要	P. 3～P. 10
III. 学術講演会	P. 11～P. 12

No. 5 1 4 号

令和 7 年 1 1 月発行

I. 10月行事報告

日	曜	医 師 会 関 係	学 院 関 係
1	水		
2	木		
3	金		
4	土		
5	日		
6	月		
7	火		
8	水	災害時フォーミュラリ説明会 15:00 ホテルサン人吉 3 階 会議室	
9	木		
10	金	令和 7 年度（2025 年度）球磨圏域地域・職域連携推進会議 兼健康食生活・食育推進連絡会議 13:00 球磨地域振興局 2 階 大会議室	
11	土		
12	日		令和 8 年度第 71 回生入学試験 9:00 学院
13	月	スポーツの日	
14	火	人吉市嘱託医会議 14:00 人吉市役所 理事連絡会議並びに学院運営委員会 19:00 会議室	
15	水		
16	木		
17	金	令和 7 年度第 1 回人吉球磨定住自立圏共生ビジョン懇談会 14:00 人吉市役所 2 階 201・202 会議室	
18	土		
19	日		
20	月	令和 7 年度第 2 回南九州中部地域医療連携協議会幹事会 14:00 人吉市保健センター 1 階 会議室①②	
21	火		
22	水	令和 7 年度第 2 回人吉市国民健康保険運営協議会 14:00 人吉市役所 2 階 202 会議室	
23	木	第 72 回 JCHO 人吉医療センター地域協議会 19:00 人吉医療センター	
24	金	循環器疾患カンファレンス 18:50 ホテルサン人吉（ハイブリッド形式）	
25	土	令和 7 年度城南地区医師会職員懇談会 17:00 八代ホワイトパレス	

日	曜	医 師 会 関 係	学 院 関 係
26	日		
27	月		令和 8 年度第 71 回生入学試験 願書受付開始（～10/31(金)）
28	火	人吉市嘱託医会議 14:00 人吉市役所 理事連絡会議並びに学院運営委員会 19:00 会議室	
29	水	第 23 回ひとよし温泉マラソン第 1 回救護部会議 14:00 人吉市保健センター 2 階 会議室③ 令和 7 年度市民健診実施にかかる意見交換会 19:00 人吉市保健センター 2 階 多目的室	
30	木		
31	金		

Ⅱ．各種会議報告

○災害時フォーミュラリ説明会(10/8 水) 15:00 ホテルサン人吉 3 階 会議室

■人吉球磨における「地域フォーミュラリ」への取り組みを

人吉市医師会、球磨郡医師会、薬剤師会の勉強会として開催されました。

地域フォーミュラリについての基本情報・導入方法・災害時の有用性など日本フォーミュラリ学会理事長の今井博久さんが説明されました。

地域フォーミュラリとは、「地域医療で使用が推奨される医薬品リスト」の事です。

日本では、18,000 品目の銘柄の薬が存在し、実にイギリスの 3 倍である。

今、日本における人材不足が原因で、医薬品供給を巡っても、

①少量多品目生産体制を原因とする生産供給の危機

②営業所の閉鎖や運輸業界の人手不足などで医薬品卸流通網を維持することが困難となる流通網危機

③地震や水害、土砂災害などにより、医薬品供給が停止する危機がある。

そこで、地域の三師会（医師会、歯科医師会、薬剤師会）や有床医療機関が一体となり地域でよく処方される医薬品を中心に、有効性、安全性、経済性などを含めた総合的観点で最適と判断する推奨医薬品を絞り、それをまとめた医薬品集を作成し、平時から使用することで、医薬品不足を解消し、薬品の使用期限切れによる在庫廃棄という無駄をなくすことができ、経済効果も上がる。また、先生方が各種学会で発表をすることで、災害発生時には DMAT や JMAT がいち早く確認して医薬品集に掲載されている医薬品を携えて支援に入るため、すぐに必要な医薬品が届くという仕組みができる。

以上の取り組みを、是非、この人吉球磨で取り組まないかという提案があった。

（久本 禎二）

○令和 7 年度(2025 年度)球磨圏域地域・職域連携推進会議兼

健康食生活・食育推進連絡会議(10/10 金) 13:00 球磨地域振興局 2 階 大会議室 →

別紙 1
P9～P10

○ **理事連絡会議並びに学院運営委員会(10/14 火) 19:00 会議室**

〈医師会関係〉

①中間監査の日程について

日時：令和7年11月19日（水） 午後6時30分～

場所：人吉市医師会館

②忘年会の開催について

日時：令和7年12月11日（木） 午後6時30分～

場所：芳野旅館

③役員反省会(理事会)の開催について

日時：令和7年12月23日（火）

午後6時30分～ 理事連絡会議並びに学院運営委員会

午後7時00分～ 理事会（役員反省会）

理事会終了後懇親会

場所：人吉旅館

④熊本県医師会医学講座の開催について

日時：令和8年2月6日（金）午後7時～ 予定

場所：人吉市医師会館

演題：『（仮）日本で一番赤ちゃんが産まれる病院の今』

講師：福田病院副総病院長 三淵 浩 先生

⑤学校等の管理下における「ケガ」に対する対応について

学校管理下での怪我等については、保護者からの説明不足で混乱している。学校側からの報告をしっかりと受診医療機関に伝えるよう指導があった。

〈学院関係〉

①第71回生入学試験合否判定

第1回目の試験を1名の方が受験し合格となりました。前年に引き続き外国籍（ミャンマー）の生徒となります。

今年度、非常に問い合わせが少ない厳しい状況となっております。先生方のお知り合いで受験可能な方がいらっしゃいましたらぜひご紹介お願いします。

（中山 紗耶香）

○令和 7 年度第 2 回南九州中部地域医療連携協議会幹事会(10/20 月)

14:00 人吉市保健センター 1 階 会議室①②

人吉球磨両医師会事務長と 1 市 4 町 5 村の担当課長が出席し、令和 8 年度以降の事業計画等について会議がありました。

要望活動の強化を含め今後の進め方とより効果的な方策を各委員から発言があり、国へ直接要望することや知事経由で要望するなど、当協議会と同様に悩んでいる自治体が全国に多数あること。八代市と氷川町では、産科医確保を目的として 500 万円を熊本大学に寄付したとのことなど意見が出されました。

また、岡山県笠岡市では、地域の産科医院が閉院したことを受け、新しい連携モデル等の先進的な取り組みが紹介されました。以上です。

(久本 禎二)

○令和 7 年度第 2 回人吉市国民健康保険運営協議会(10/22 水)

14:00 人吉市役所 2 階 202 会議室

1. 委嘱状交付
2. 市長挨拶
3. 自己紹介
4. 開会
5. 人吉市国民健康保険運営協議会会長の選出

中村明公（人吉市社会福祉協議会）氏が会長に選出された。

6. 人吉市国民健康保険税の改定について (資料 2)

改定案は、本年 12 月上旬に県から令和 8 年度事業納付金の仮算定の結果が市に通知があり、令和 8 年 1 月中旬、令和 8 年度事業方針及び、子ども子育て支援金分を含めた、国民健康保険税の改正について内部で検討され、令和 8 年 1 月下旬から 2 月上旬審議され、令和 8 年 3 月人吉市議会に改正案を上程される予定となっている。

7. その他

資料請求は事務局まで。(友永 和宏)

○第 72 回 JCHO 人吉医療センター地域協議会(10/23 木) 19:00 人吉医療センター

1. 開会
2. 院長挨拶
3. 課題

①登録医承認

新規登録：中原歯科医院	中原弘樹 先生 (人吉市)
はやしクリニック	林 哲也 先生 (球磨郡)
登録削除：田中医院	田中敏洋 先生 (球磨郡)
横山医院	横山武春 先生 (球磨郡)
寺田病院	大園史郎 先生 (伊佐市)

②球磨医療圏の現状-第 8 次熊本県保健医療計画より (資料 1)

人口構造の変化：人口減少は進展、2022 年時点 7.9 万人、2040 年には約 5.7 万人となる見込み

高齢化率：2020 年時点、40%と県全体の 32.1%と比較しても高い、2040 年推計 45.9%

医療提供体制・患者の受療動向等：人吉医療センター、公立多良木病院が中核的な医療機関、11 病院のうち 9 病院が人吉市に集中、3 次救急等は、熊本及び八代圏域に一部集中しつつも、患者の 88.3%が圏域内の医療機関に入院。球磨圏域は県内でも比較的独立した医療圏であり、圏域住民が住み慣れた地域で治療を受けることのできる医療提供体制を維持している。

4. 意見交換

①人吉球磨圏域災害時フォーミュラリ進捗状況

村田 圭介会長 (人吉球磨薬剤師会)

日本フォーミュラリ説明会

10 月 8 日午後 3 時から午後 5 時まで、サンホテル人吉 3 階会議室で開催。

5. その他

6. 閉会

(友永 和宏)

○令和 7 年度城南地区医師会職員懇談会(10/25 土) 17:00 八代市

令和 7 年度城南地区医師会職員懇談会が城南地区医師会事務局長、職員合わせて 27 名が参加し、今年の当番である八代市にて行われ、公益目的支出計画に係る業務や休日当番のルール設定、MAMIS（医師会会員情報システム）の運用について等、意見交換がありました。

来年開催されます、城南地区医師会長・副会長連絡協議会は、城南地区より推薦する熊本県医師会次期役員候補者及び同次期裁定委員候補者等の選出について本連絡会議を開催する必要があるため、4 月 25 日（土）と 5 月 2 日（土）のどちらかに行われるとの事でした。

来年の城南地区医師会職員懇談会は、球磨郡で行われる予定です。（久本 禎二）

○ **理事連絡会議並びに学院運営委員会(10/28 火) 19:00 会議室**

〈医師会関係〉

①令和 8 年度学校医の配置について

現在の学校医の先生に継続の依頼文書を発送することになった。

②令和 8 年度休日在宅医表（案）について

今年度に引き続き、継続して休日在宅医の依頼を行うこととなった。

③第 23 回ひとよし温泉マラソン開催に伴う医師派遣について

大会に当日協力できる医師の派遣を医療機関へ依頼することとなった。

〈学院関係〉

①第 70 回生（1 年生）戴帽認定について

71 回生 18 名が無事前期の成績を修め戴帽認定をいただきました。

11 月 7 日（金）に戴帽式を行います。

（中山 紗耶香）

○第 23 回ひとよし温泉マラソン第 1 回救護部会議(10/29 水)

14:00 人吉市保健センター 2 階 会議室③

前回大会の反省等を振り返り、次回の大会に向けて救護部の打ち合わせ会議が開催されました。ハーフマラソン (21.0975 km) 走路に、ランナーの緊急事態に備えるため、13 カ所に救護所を設け対応する。今回も人吉医療センター職員の方がボランティアとしてチームを組み対応にあたります。次回の会議は、12 月 15 日に開催されます。

（久本 禎二）

○令和 7 年度市民健診実施にかかる意見交換会(10/29 水)

19:00 人吉市保健センター 2 階 多目的室 →

別紙 2
P11

別紙 1

令和 7 年度(2025 年度)球磨圏域地域・職域連携推進会議兼

健康食生活・食育推進連絡会議(10/10 金)

個人の健康は、家庭、学校、地域、職場等の社会環境の影響を受けることから「地域・職域連携」のもとそれぞれが持つ情報の共有や資源の相互活用を行い、より効率的・効果的な保健事業を展開して県民の継続的な健康づくりを支援し、健康寿命の延伸を図ることを目的として保健所が主体となって各職域連携会議が行われています。

健診機関として人吉医療センター予防医療センター、公立多良木病院健診センターコスモ。地域保健として各市町村の保健福祉課。

職域保険分野から全国健康保険協会熊本支部や球磨地域農業協同組合、人吉労働基準監督署等。関係団体として両医師会、歯科薬剤師会等が参加しました。

木村聡子人吉保健所長の挨拶にて開会。

保健所担当より「熊本の社会保障費健全化に向けて～健康実態とその背景～」と題して特定健診やがん検診の実態についての説明がありました。

まず熊本の状況としては一人当たりの医療介護費は、令和 4 年度全国で国保 8 位、後期高齢者 7 位、介護保険 15 位。

特定健診実施率は、令和 4 年度 54%で 31 位、特定保健指導実施率 40.7%で 1 位。

メタボリックシンドロームは全国腹囲で 5 位、内臓脂肪症候群該当者 6 位。関連疾患の糖尿病 HbA1c : 6.5%以上は 4 位で世代別統計では 40～64 歳で男性は令和 3 年全国 1 位、女性 2 位。糖尿病による入院は 11 位。人工透析患者割合は 2 位でした。

球磨地域のデータでは死因として悪性新生物 19.3%、心疾患 16.4%、脳血管疾患 8.1%。

癌標準化罹患比では男性は前立腺 1.08 で県下 1 位、女性は肝臓 0.94 で県下 8 位。癌標準化死亡比では男性で胃がん 1.12 肝臓がん 1.31 でともに県下 1 位。女性は胃がん 0.28 で県下最小でした。

医療費分野では循環器課題 4 疾患（心筋梗塞・狭心症・不整脈・脳梗塞）の被保険者一人当たり医療費で球磨地区は県下で 2 位と高く。高血圧・糖尿病の一人当たり医療費は 2 位、脂質異常症は 5 位。

特定疾患結果の県内比較では球磨圏域は県標準より 20%肥満者が多く、腹囲基準値以上者の割合（男性 \geq 85 女性 \geq 90）では 30%多く、HbA1c5.6%以上の者の割合も 30%多かった。

球磨圏域では、すでに 40 代の時点で 3～4 割が肥満者（BMI25 以上）で腹囲においては半数が基準値以上、HbA1c5.6%以上者は 40 代男性で 4 割越えとなっているとの事でした。

以上の結果から、球磨圏域では働き世代からの生活習慣病予防のための取り組みが重要との事で、既に小学校 5 年生の令和 6 年度肥満傾向児割合は県平均 11.6%を上回る 17.9%であり朝ご飯を食べる習慣を含めた食育についても重要であるとの事でした。

しかし一方では球磨圏域の特定健診の実施状況は令和 5 年度で県平均の 38.2%を大きく上回る 54.5%で特定保健指導実施率も県平均 51.7%を大きく上回る 70.3%との事でした。人吉市の数字ではそれぞれ 44.9%と 60.2%で県平均を上回っていました。またがん検診受診率も県平均を大きく上回っていました。

続いて全国健康保険協会（協会けんぽ）熊本支部より現状と取り組みについて報告がありました。

熊本県内の協会けんぽ加入事業所は約 3 万 7 千事業所、加入者数は約 60 万 5 千人。県人口の 20～50 代の 48.4%は協会けんぽ加入者であるとの事で「働き盛り世代」の 2 人に 1 人は協会加入者であるとの事でした。また 3 万 7 千事業所の約 8 割は 10 人未満の小規模事業所であり小規模事業所での健診受診率が低い傾向であることが問題とされました。また協会けんぽとしての取り組みとして、協会けんぽ被扶養者に対して市町村が行うがん検診と同時に特定健診を受診できるような取り組みを行政と協力して行い、八代では 3,200 人にダイレクトメールを送致して両健診の受診率を上げる取り組みを行っているとの事でした。

また、健診受診率の低い小規模事業所や健診結果が悪い事業所などのターゲット事業所を選定して集め、市町村や保健所、商工会等と連携して健康セミナー開催を行った天草の事例の紹介などが行われました。

健診後に二次検査受診率の向上・増加を目指す事が重要であり、そのためには対象者への結果通知が行われた後の二次検査受診の履行状態の把握・勧奨が重要との事でした。

実際に二次検査を受けてもらう人を増やすための取り組みとして、医師会に対しては「二次検査のできる医療機関の整理と周知」について保健所長より協力を求められました。具体的には 2 次検査受託医療機関のリスト作成。どういった検査が出来るか？（例えばホルター心電図や CT 検査等）また受け入れ曜日や時間帯（土日の対応の有無等）の情報をパンフレット化して紹介状に同封することなどを考えているとの事でした。

（ 田中 洋一 ）

別紙 2

令和 7 年度市民健診実施にかかる意見交換会(10/29 水)

10 月 29 日午後 7 時より人吉市保健センターで行われました。

平成 24 年に人吉市と協定書を交わし開始されました市民健診も今年で 13 年目となります。

今回、医師会からは友永会長、田中副会長、伊津野先生、堤厚之先生、岡先生、今給黎先生、西村先生にご参加頂きました。

人吉市長、友永会長の御挨拶の後、友永会長の司会で協議が開始されました。

令和 6 年度の特健健診受診率は 46.8%で、ここ 5 年間では最も高い値でしたが、40%台半ばでの横ばい状態が続いており、国が掲げる 60%の目標値には未だ遠く及んでいません。

受診率の向上の為に、情報提供受診者数の増加が必要ですが、最も多かった令和 4 年度の 82 名に対し令和 6 年度は 30 名に減少しておりました。

先生方のご協力をお願い致します。

ヤング健診は 19.6%、後期高齢者健診は 27.54%といずれも低い受診率で、今後の受診勧奨が必要と思われました。

がん検診受診率は、肺がん、大腸がん、前立腺がん、腹部超音波検診が 40%前後、マンモグラフィが 25.3%でしたが、胃がん検診が 17.4%子宮頸がんが 22.5%と低くなっており、対策が望まれます。

各種がん検診の精度管理に関しましては、これまでも精検受診率の向上を課題として指摘してきましたが、精度管理の担当者が配置され、受診勧奨もきめ細かく行われる様になり、和 6 年度は胃透視、肺がん、大腸がん共に 75%以上に上昇していました。

次に保健事業実施計画（データヘルス計画）の進捗状況説明がありました。

平成 29 年度から始まりました保険者努力支援制度に基づく、年間総額県 500 億、市町村 500 億円の特別交付金の分配割合の根拠となる和 6 年取組評価点数計 840 点のうち、人吉市は 586 点で、交付金額は 18,240,000 円でしたが、特定健診受診率、メタボ該当者及び予備軍の減少率が低く、人吉市の特徴として、女性のメタボ率が高い事が指摘されました。

次に、令和 7 年度の検診受診率向上の取り組みとして受診勧奨の取り組みや、情報提供健診票送付封筒のデザイン変更により受診者が増加傾向である事などが紹介されました。

その後質疑応答があり、会は一旦閉会となりましたが、今後検診事業を推進して行くにあたり、現状問題点を共有する事が必要であると考えられましたので、最後に田中副会長から、先日行われました 令和 7 年度球磨圏域地域・職域連携推進会議兼健康食生活・食育推進連絡会議で話し合われた、球磨圏域の現状報告をして頂き、会が終了致しました。

（ 光永 憲央 ）

Ⅲ. 学術講演会

< 報告 >

日時	場所	単位	研修会の名称・演題	講師	参加数 (人医数)
10/24 (金) 18:50	ホテル サン人吉 3 階 『桜の間』 (ハイブリッド開催)	1	循環器疾患カンファレンス		39 名 (内 2 名)
			<u>講演Ⅰ</u> 『心不全パンデミック時代、 どう心不全に立ち向かうか？ ～エサキセレノンの活用も含めて～ 』	<u>講演Ⅰ</u> JCHO 人吉医療センター 循環器内科 部長 尾上 喜郎 先生	
			<u>講演Ⅱ</u> 『高齢者の高血圧と心不全の トータルマネジメントを考える ～JSH ガイドライン 2025 を踏まえて～』	<u>講演Ⅱ</u> 熊本大学大学院 生命科学研究部循環器内科学 准教授 泉家 康宏 先生	

< 予定 >

日時	場所	単位	研修会の名称・演題	講師
11/6 (木) 18:30	人吉医療センター 3 階 講堂 (ハイブリッド形式)	1	医療 ICT の未来を考える	
			「DX が切り拓く新しい地域医療の形」	水俣市立総合医療センター 診療部長兼 ICT 医療推進センター長 長井 洋平 先生
11/8 (土) 14:00	人吉医療センター 3 階 講堂	令和 7 年度日本医師会生涯教育講座		
		1	「感染症の発生に備える」	JCHO 人吉医療センター 感染管理認定看護師 別府 るみ 先生
		0.5	「最近の糖尿病治療薬について」	JCHO 人吉医療センター 糖尿病・代謝・内分泌内科 部長 大礪 洋 先生
		0.5	「急性心筋梗塞の治療 ー 現状と課題について ー」	JCHO 人吉医療センター 主任循環器内科部長 田口 英詞 先生
		0.5	「頭痛の診断と治療」	JCHO 人吉医療センター 副院長・脳神経外科部長 牟田 大助 先生
11/27 (木) 19:00	ホテルサン人吉 2 階 『白鳳の間』	1	第 10 回人吉球磨呼吸器研究会	
			『症例から学ぶ せき・ぜんそく・呼吸器感染症診療の 要諦と最近の話題』	国立病院機構熊本再春医療センター 統括診療部長 呼吸器センター長 感染対策室長 中村 和芳 先生
11/28 (金) 19:00	人吉温泉 鍋屋 (オンライン配信)	1	「地域でつなぐ前立腺癌治療」 ～人吉・球磨での診療連携ディスカッション～	
			『人吉・球磨地域での 前立腺癌診療の取り組み』	JCHO 人吉医療センター 泌尿器科 部長 中熊 健介 先生

〈編集後記〉

- 11月6日政府の医療・介護分野の支援策が判明しました。対策の柱として、食材費や光熱水費などの高騰に苦しむ医療機関や介護施設の経営改善に向け、補助金を支給するとの事。先日、県に生産性向上・職場環境整備等補助金を申請し、県から訂正を指示された際に支給は3ヶ月後と言われました。

11月14日テレビ「ひるおび」で日本維新の会は保険給付削減のためOTC類似薬を保険給付から除外することを要求しているとの事。自民党は連立を解消すべきと思いました。

我らの釜菴氏に期待しています。

（伊津野 清徳）

人吉市医師会通信

発 行	人吉市医師会
発行人	友 永 和 宏
編集者	高 橋 耕 一
	田 中 洋 一
	執 行 智 子
	下 川 恭 弘
	光 永 憲 央
	伊津野 清 徳
	権 頭 修
	万 江 真一郎
	吉 田 敏 知
	堤 厚 之

人吉市医師会通信は、人吉市医師会運営全般の概要を記載しております。
不明な点がありましたらFAXにてお尋ね下さい。

FAX 22-3073 医師会事務局

FAX 22-2248 豊永耳鼻咽喉科医院